

特定の事業を行うために特別会計・企業会計があります。〔表10〕の資金不足比率にあるとおり、昨年度に引き続き、いずれも国の定める基準を超える数値はなく健全な経営状態にあるといえます。企業会計決算は〔表11〕、特別会計決算は〔表12〕をご覧ください。

概要
特別・企業会計の財務状況は健全な状態！

7 特別会計・企業会計

県や市町村の財政を適正に運営することを目的として、19年度決算から財政健全化に係る各指標の公表が義務づけられました。垂水市の各指標は、前年度と比べて実質公債費比率は1.1%改善、将来負担比率は39・9%上昇しましたが、いずれも国の定める基準を超える数値はなく、財政状況は健全な状態にあると言えます。〔表9〕〔表10〕

概要
健全化基準クリア
数値が小さいほど良い

6 健全化判断比率 資金不足比率

〔表10〕 公営企業の資金不足比率

※資金不足比率
公営企業の資金不足から、経営状況の悪化の度合いを示す比率

特別・企業会計名	29年度	28年度	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.00
病院事業会計			
地方卸売市場特別会計			
漁業集落排水処理施設特別会計			
簡易水道事業特別会計			

※「-」は、資金不足がないため

〔表11〕 企業会計の歳入・歳出

企業会計名	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	2億8,516万5千円	2億3,311万2千円	2,671万4千円	1億2,069万5千円
病院事業	22億6,684万2千円	20億7,710万6千円	1億92万2千円	1億4,445万5千円

〔表12〕 特別会計の歳入・歳出

特別会計名	決算額			実質収支
	歳入	歳出	差引	
国民健康保険特別会計	26億8,253万8千円	26億7,995万6千円	258万2千円	258万2千円
交通災害共済特別会計	528万4千円	457万8千円	70万6千円	70万6千円
地方卸売市場特別会計	637万9千円	242万6千円	395万3千円	395万3千円
介護保険特別会計	21億8,790万3千円	21億2,191万9千円	6,598万4千円	6,598万4千円
後期高齢者医療特別会計	2億2,291万1千円	2億2,234万2千円	56万9千円	56万9千円
老人保健施設特別会計	6億1,460万5千円	6億1,019万2千円	441万3千円	441万3千円
漁業集落排水処理施設特別会計	3,126万7千円	3,059万3千円	67万4千円	67万4千円
簡易水道事業特別会計	3,959万1千円	3,767万9千円	191万2千円	191万2千円

〔表9〕 健全化判断比率

健全化判断比率	29年度	28年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	-	-	14.85	20.00
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	-	-	19.85	30.00
実質公債費比率 借入金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	8.7	9.8	25.0	35.0
将来負担比率 市が抱える借入金等の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	53.6	13.7	350.0	

※「-」は、実質赤字比率と連結実質赤字比率に赤字額がないため

市債は、「市の借金」です。年度を越えて元金を償還します。29年度末の市債残高は約96億円で、28年度と比べ4億7,482万5千円増加しています。今後も新規借入の抑制に努めてまいります。

概要
市の借金残額が4億7,482万5千円増加

5 市債 市の借金

基金は、「市の貯金」です。条例等に基づく特定の目的を実施できるよう財産を維持し、資金の積み立てまたは定額の資金を運用するもので、条例で設置されます。財源不足の調整のために使われる財政調整基金は、28年度より9,322万円増加し、15億4,786万円になりました。

概要
財政調整基金は9,322万円増額
市の貯金

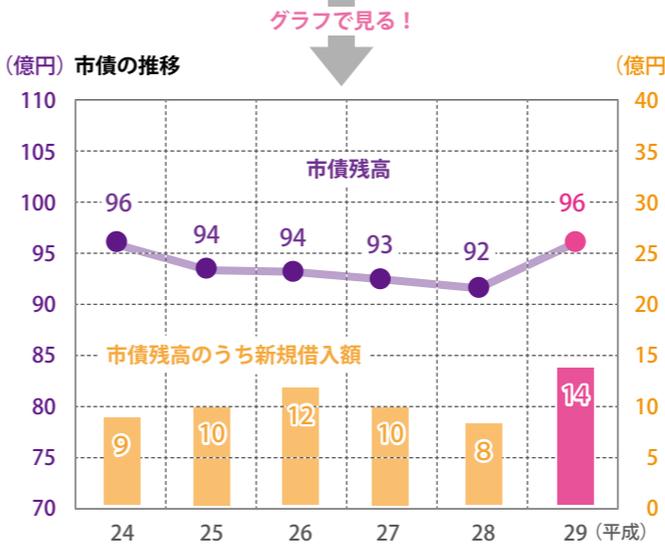
〔表7〕 市債の状況（借入残高）

市債	29年度末	市民一人あたり
臨時財政対策債	33億8,603万5千円	22万5,195円
その他の市債	62億3,893万3千円	41万4,933円
合計	96億2,496万8千円	64万128円

〔表8〕 市債残高と新しく借りた市債の推移

※上記〔表7〕の数値を四捨五入しています。

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
市債残高	96億円	94億円	94億円	93億円	92億円	96億円
うち新規借入額	9億円	10億円	12億円	10億円	8億円	14億円



〔表5〕 基金の積立状況（平成29年度末現在）

基金	29年度末	市民一人あたり
財政調整基金	15億4,786万円	10万2,944円
減債基金	2億8,448万2千円	1万8,920円
その他の基金	21億5,442万5千円	14万3,284円
合計	39億8,676万7千円	26万5,148円

〔表6〕 基金残高と財政調整基金の推移

※上記〔表5〕の数値を四捨五入しています。

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
基金残高	22億円	25億円	28億円	35億円	35億円	40億円
うち財政調整基金	13億円	14億円	14億円	17億円	15億円	15億円

